

序

第一章 まちづくり拒むは 変わらぬ高運賃

一の一 財布より 定期落とすな 北総線

超メタボ 一 駅だけで三百円

鉄道会社が やつていいのか タダ乗りを

一の二 なぜ?か かくも高い運賃 北総線

同居する優等生と落ちこぼれ

大風呂敷 広げてみたら 穴だらけ

幸せになる道遠し 継子ゆえ

一の三 ナシヨプロに 翻弄される 北総線

望まれず? 生まれたこの世 幸薄く

風呂敷が破れて 投げ出す 県鉄道

通勤と アクセス線に 引き裂かれ

ヘボ相撲 欲とリスクの 突っ張り合い

立派すぎる線路は どなたの露払い?

一の四 5年後の補助金ゲットに ツバつける

高運賃か 税の負担か 選びなさい

高運賃 下げたきや出しな 補助金を

一の五 タダ乗りで 我が子の稼ぎ 掠め取る

スカイアクセス線「タダ乗り」のカラクリ

軒貸して 母屋差し出す お人好し

家主の 実入り横盗る 店子かな

親無情 筆り取られる 子のスネ毛

一の六 仁義なき 深謀遠慮 ひねりワザ

親会社に 虎の子差し出す 経営者

重ねたり 捻り合わせて 搾り取る

タダ乗りは 今始まったことじゃない
の七 まだあるぞ 高運賃の タネ仕掛け

何とも面妖!? 千葉ニュータウン鉄道への線路使用料取り決め

子の実入り 中抜き 骨抜き スツポ抜け

小室より先は 鵜となり 鳥となり

売上は まるまる親が 召し上げる

子会社に 施設もたせて 借金漬け

払い下げも 悪知恵磨く タネとなり

借金の 年季明けまで 高運賃?

ミンミンの 木陰に隠れ 天下り

一の八 苦しゅうない もそつと近う 新鎌クン

新鎌ヶ谷駅の怪

料金の 上げ底図る メートル差

上げ底に比べりゃ 値下げも なんのその

第二章

悲喜劇の ネタの宝庫だ 北総線

沿線住民が日々体験する高運賃の実態・実話集

上げ底に 埋蔵金が 埋まつてる?

アンケート いつもトップに 高運賃

物事は 表と裏の 二面あり

計量化 できぬ損害 どう測る?

笑っちゃう この運賃の バカ高さ

二の一 認めません 通勤ルートに 北総線

ニュータウン 聞くと見るとじゃ 大違い

迂回せよ 高い運賃 北総線

渋滞と雨がうらめし バス通勤

人事課も 体験してみろ この辛さ

地獄からの 脱出かけて 食い下がる

人事課の 分厚い氷 やつと溶け

二の二 職探しどころではない 高運賃

総務課が 毎度のイヤミ 通勤費

社内婚 共稼ぎだと 百万円!

人生の 門出の道を 曲げられる

財布より 定期落とすな 北総線

住所見て 面接官の 顔ゆがむ

再雇用 通勤代が アダとなり

二の三 親と子を 生き別れにする 通学費

脱北者 ワケを訊ねりゃ 高運賃

二の四 つくづくと 恨み辛みの 高運賃

〈通勤〉 遠くても 安いルートを 使いなさい

通勤費 だけは社内で 断トツだ!

高運賃 年金までも トバッチリ

〈通学〉 北総線 乗れない駅から 徒歩3分

通学費 嚙り尽くすは 親の脛

友だちを 呼ぶに呼べない 高運賃

巢立ちより まずは難民 脱出だ!

〈就活〉 北総に 住んだばかりに 職あふれ

高運賃 面接官に 知れわたり

〈生活〉 治療費より 食事代より 高くつき

老体を 喰う寝る処に 閉じこめる

孫の顔 遠のくばかり 高運賃

二の五 回数券バラ売りだけが 頼りだよ

社用族専用電車か 北総線

生活の 知恵が生み出す ヒット策

ありがとう 買って感謝の 回数券

間違えず 賢く使って みな笑顔

二の六 避けましょう 高運賃の直撃は

第三章 タダ乗りを おそれながらと 訴える

北総線値下げ裁判原告座談会

不明朗 高運賃が 据え置かれ
ライナーは 馬耳東風で 爆走す
陳情も 署名集めも ラチあかず
さんざつばら 期待もたせて 肩すかし
面食らう ことばかりなり 法廷は
主役級のつもりが いつしかエキストラ
謎だらけ 矛盾だらけの 高運賃
北総線 して、ある時は 空港線
伏魔殿 総括原価 空港線
頭下がる 弁護士たちの 奮戦ぶり
予備校にまで 迷惑かける 高運賃
企業にも じわりじわりと ボディブロー

157

186 184 182 179 178 176 173 171 166 164 162 158

〈付〉北総線 悪夢の辞典

あとがき

知恵絞り 高運賃から 身をかかわす
あと少し 近くになれば 新鎌駅
終点に 来ても降りない バス達者
裏ワザが 生活必需 ニュータウン

208 199 195 193 192 189